

この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

「ベイクドおはぎ」最高賞

牛乳・乳製品
県料理コン 佐藤さん(花北)輝く

牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会(県牛乳普及協会主催)は18日、盛岡市南青山町の市西部公民館で開かれた。高校生6人を含む10人が工夫を凝らした料理で味や出来栄を競った。最優秀賞・県知事賞は花巻市湯口の花北青雲高2

年佐藤綾乃さんの「ベイクドおはぎ」が選ばれた。コンクールは36回目。応

募136人から書類選考を突破した10人が牛乳やバター、生クリームなどを使ったオリジナルの料理やお菓子を1時間以内に調理。盛岡大栄養科学部の笹田陽子教授ら9人が審査した。



クリームチーズとあんこの組み合わせなどが高く評価された佐藤綾乃さんの「ベイクドおはぎ」

最優秀賞はもち米を黒米や牛乳と一緒に炊いてつぶし、クリームチーズ入りのこしあんを包んだおはぎ。表面にチーズをまぶして焼き、洋風に仕上げた。「とてもおいしい」と評価され、佐藤さんは「おはぎも牛乳も好き。来年は東北大会もあるので、他の人が考えないような料理を作って出してみたい」と声を弾ませた。優秀賞は同市大迫町の同校3年川村梨菜さんの「プーチーりん！寿司」が選ばれ、残る8人には優良賞が贈られた。